

時議會の結果は單なる農村救済土木事業に過ぎなかつた。農民の土地を取り上げ道を造る事で農村は救はれるか、欺瞞的な一時の政策である。御一人の御一任による内閣であるにも不拘黨利黨略に没頭し財閥と結託し利益を貪つて眞の國策遂行を忘れてゐる。徳川時代と何等變らぬ私的政治である。之等の政黨政治家を排撃し正しい國家、國民の政治の爲に起上れ。

○ 皇道會常任幹事

北山 亥四三

鶏の卵は中味が大切であるか殻が大切であるか、世の中の人には黄味より殻を大切に思ふ人がある。社會制度と國民生活の關係は制度が殻で、國民生活が黄味である。難になるのは殻を破らねばならぬ。政黨は非常時に在りて政治よりも政黨が大切だと考へて來た、國民が發展、飛躍する爲に

は從來の政黨政治の殻を打破せねばならぬ。買収、干渉により大多數となり政權を握る、これ政黨の常道である。上御一人の下に協力して各々の立場に立つて國家に盡す事か非常時の打開である之皇道會の綱領の一である。行詰れる横暴なる獨裁資本主義を國家に依り統制し、國民の必要に應じた經濟機構とせねばならぬ。同時に萬世一系の天皇の下に在りて共產主義、世界思想を絶對に排撃する。農民と利害を一にする中商工業者は提擧して起ち上れと言ふのか皇道會の精神である。

農村の大問題たる土地に對して吾々の有する政策は耕作地國家管理案である。全國の田畑は六百萬町歩で小作水田は百七十萬町歩に及び之か小作爭議の起る根本原因であるこの百七十萬町歩を國家が土地證券を發行し反當り二百圓に